

困った時はとりあえず・なんでも・ご相談ください。
社会福祉協議会では、相談窓口を開設しています。

心配ごと相談所

皆さんの暮らしの中での心配ごと、永年の悩みごとなど何でもご相談ください。
予約はいりません。お気軽にお越し下さい。

場 所：多賀町総合福祉保健センター ふれあいの郷 ボランティア室
相談日：(毎月16日・土日祝日は翌平日)
6月16日(火)
7月16日(木)



時 間：午前9時から午前11時30分まで

地域福祉権利擁護事業

- *お金の管理に困っている
- *通帳やハンコ、財布を置き忘れる
- *年金など生活費がうまく使えない
- *福祉サービスなど申請手続きや契約の方法が難しい
- *いつも探し物をしている
- *不安を口にしている



ご近所の高齢の方や、離れて暮らしておられる親御さんなどにこのようなことがありませんか。

生活費の管理や、通帳やハンコ、証書などを預かり、手続きに関する利用を援助します。 (相談無料・秘密厳守)

生活困窮者自立支援制度

このようなことで、生活にお困りではありませんか？

- *収入が不安定で、家賃や税金を滞納している。
- *お金のやりくりがうまくいかず、家計が困っている。
- *長く働いた経験がなく、仕事に出ることに不安を感じている。



もう一人で悩まないで！ あなたのお悩みご相談ください。
(相談無料・秘密厳守)

相談窓口：多賀町社会福祉協議会

電話 48-8127 / 有線 2-2039

滋賀県犬上郡多賀町多賀 221 番地 1 福祉保健センターふれあいの郷内
月曜日～金曜日 8時30分～17時15分 (祝日・年末年始を除く)

ふくしたか



多賀町赤十字奉仕団でマスク作りをされました。

マスク製作プロジェクト

新型コロナウイルスによるマスク不足に対応するため、県内の赤十字奉仕団が、マスクを1万枚製作するプロジェクトを始められました。

作ったマスクは県に寄付し、子ども食堂の関係者や宿泊業界などに配布される予定です。

多賀町でも、赤十字奉仕団本部役員が、3日かけて100枚を作られました。



誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり。
ふだんの **く**らしの **し**あわせを支える活動に取り組みます。



マスクの生地は「高島ちぢみ」です。
衛生面に気を付けて、心をこめて作りました。

編集・発行
社会福祉法人多賀町社会福祉協議会
滋賀県犬上郡多賀町多賀 221 番地 1
総合福祉保健センターふれあいの郷
電話 48-8127 / 有線 2-2039
FAX 48-8140
ホームページ
<https://www.taga-shakyo.or.jp>

会長就任ご挨拶

平素は、多賀町社会福祉協議会の運営にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

長年地域福祉にご尽力いただきました、野村清嗣会長が、令和2年3月31日付にて辞任され、その後任として、新年度4月1日から、私が重責を担うことになりました。

経験、識見ともにまだまだ力不足ではありますが、今日まで築いて来られました地域福祉活動に学びながら、この職責を果たしてまいりたいと考えております。

少子高齢化、核家族化によって、家族関係や地域社会における“つながり”が薄れてきているなか、社会福祉協議会では、「あなたが主演 おたがいさまの地域づくり」をキーワードに、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指しています。

そんな中、「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため、3月から学校が一斉休校となり、高齢者の居場所であるサロンも活動できずに3カ月が過ぎようとしています。

人とのつながりが絶たれてしまうことで、認知症への不安や、外出自粛によって、動かないことによる、身体機能の低下も心配され、社会福祉協議会では、地域の民生委員・児童委員、福祉推進員さんの協力の下、見守り活動をしています。

5月14日、緊急事態宣言が解除されました。地域での活動も、徐々に再開していきますが、これからも普段の暮らしの中で、手洗い・うがい、マスクの着用を忘れず、一定の距離を保ちながらも、“心は寄り添い”、停滞しています各事業の推進に、住民みなさまをはじめ、関係各位のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



小財 惣九郎

小菅比呂子
山中元子
多賀節子
井上直夫
谷口俊夫
久保川雅子

湯本佳代子
吉川裕子
小菅建次
柴田勝義
大西孝雄
土坂淳子

若林幸雄
坂上法子
山本忠克
宮野由紀
柏瀬善彦

(計一七名)

評議員
(決議機関)

監事 理事 副会長 会長
富永 寺西 安藤 林藤 中溝 野村 三木 久保 土居 西澤 小財
勉 和 典子 優子 惣藏 江良 正彦 彰芳 惣九郎

役員
監事 理事 二名 九名

役員・評議員・職員
の紹介



3月末で辞任された野村清嗣前会長(前列)と社協職員左から、野村・平塚・安藤・夏原・西村・棚池

「新型コロナウイルス」で

私たちの暮らしは一変しました。

- *感染予防のため、マスクを着けて、こまめに手洗いうがいをしましょう。
- *外出を控え、家にいましょう
- *密閉・密集・密接を避けてください。



高齢者の居場所“サロン”も3月から中止しています。

「集まったらダメ」なら「訪ねて行きましょう」
福祉会の、「見守り・声かけ活動」の一部を紹介します。



大杉福祉会は…
毎週木曜日のサロンが中止。「会えないと寂しいので、様子をうかがいにきました。」「いつも気にかけてくれてありがとう」と会話が弾みました。

久徳福祉会では…
サロン皆勤賞の方にお花を届け、近況などを聞きました。久しぶりに顔を見ることができ、お互いに安心しました。



栗栖福祉会は…
毎週水曜日のサロンや、体操を中止。サロン再開時に飾り付けられるように“折り紙”と、袋入りのお菓子をもって訪問しています。
♪「元気にしています」
♪「早くみんなで集まりたいね」と元気な声が聞かれました。

多賀福祉会では…
3月に予定していた“ビンゴ大会”の景品を届けて、声かけ・見守りをしました。

萱原福祉会は…!!
屋外で、マスクをして、体操をしました。散歩など、なるべく外に出るように心掛け、お互いの安否を確認しました。

霜ヶ原福祉会では…
「お元気ですか?」「困ったことはないですか?」と電話をかけました。



富之尾福祉会は…
マスク不足の不安から、早速、手作りマスクを作って、手紙を添えて、届けました。



人の手のぬくもりが伝わる“手作りマスク”は、今回ご紹介できなかった福祉会や、個人の方も沢山作って、お友達や、ご近所さんに届けておられます。新型コロナウイルス感染を予防するための「新しい生活様式」でも、人を思いやる心は失いたくないですね。